

119番を活用した通報訓練を行う場合のおねがい

誤出場を防ぐために次のことを必ず守ってください。

①訓練開始前に通信指令課(083-932-2603)に事前連絡する

「〇〇ですが、〇分後に通報訓練を行います。

通報手段は（一般回線／携帯電話／火災通報装置）です。」

火災通報装置の場合は、必ず逆応答または通話割込みしてください。

応答がない場合は「火災」と判断し、消防車を出場させることになります。

②実際の119番通報で「訓練火災通報です」と最初に告げる。

あとは、火災想定に合わせて、指令課員とやりとりを行います。

★夜間の勤務体制（少人数）を想定した訓練（病院やホテル・グループホームなど）の場合は、①の事前通報時にその旨を知らせてください。

消火・避難誘導に時間を要するため、通報に時間をかけることができません。

・119番通報で「訓練火災通報、夜間体制で訓練中です」と最初に告げる。

※火災通報装置の場合は、必ず逆応答または通話割込みしてください。

（この場合、応答者は訓練実施者でなくても構いません。）

・消火、避難誘導などの訓練実施状況により、必要に応じて追加で119番通報する。

通報手段は問いませんが、必ず「訓練火災通報です」と最初に告げてください。



事業所の内線電話等を活用して通報訓練をしてみましよう！

消防職員（通信指令課員）役になれば、自分たちだけでも通報訓練ができます。

電話機で「119」を押すフリをする。【以下、●「消防」／○「訓練者」のやりとり】

●「119番消防です 火事ですか 救急ですか？」

○「火事です」

●「消防車が向かう住所と建物の名前を教えてください」

○「山口市△△（住所）…… □□（建物）です」

●「場所はわかりました。消防車はもう出場させますので、落ち着いて火災の状況を知らせてください。」→以下、火災想定に合わせて答えてください

●「何階が燃えていますか？」

○「△階です」

●「初期消火は実施しましたか？」

○「はい／いいえ／現在実施中です」

●「避難場所はどこですか？」

○「△△です」

●「ケガ人や逃げ遅れた人はいますか？」

○「いません／ケガ人が△名います／△名と連絡がとれません／わかりません」

●「あなたの名前と電話番号を教えてください」

○「××です。（電話番号）です」

●「新しい情報があればまた119番してください」

→これで終了です

～119番通報のポイント～

災害の種別（火災／救急）、発生場所（消防車等が向かう住所）が確定すれば、管轄する消防署所に出場指令が入ります。通報の途中でも消防車両は向かっていますので、落ち着いて、把握している内容を消防職員に伝えてください。